

■ 人物紹介

生没年：1903-1991

ゆかりの地：下関市

ジャンル：小説

昭和を通じて活躍した小説家。本名、タカ子。

明治36年(1903年)11月19日、豊浦郡角島村(現・下関市)生まれ。

県立山口高等女学校を卒業後、小学校教員をしたのち、小説家を志して上京、横光利一よこみつりいちの推薦を得て作品を発表した。その後、プロレタリア作家となるが、非合法活動に携わって検挙・服役し、国策への順応を余儀なくされる。

戦後は、その反省に立って、反権力・平和運動をテーマとする作品を遺した。

参考文献

『やまぐちの文学者たち 増補版』

(やまぐち文学回廊構想推進協議会 編集・発行 2013 請求記号：Y910/P 3)

■ 資料紹介

◆ 主な伝記

『わが生は苦悩に灼かれて わが若き日の生きがい』

(中本たか子 著 白石書店 1973 請求記号：916/K 3)

戦後に書かれた中本の回想録。戦前に発表した「受刑記」を加筆修正して『愛は牢獄をこえて』(五月書房 1950 請求記号：Y910/I 0)として刊行したのち、さらに加筆修正が加えられたもの。プロレタリア作家となることを決意した若き日の彼女が、労働者の町亀戸に移り住んで、工場労働と社会運動に身を捧げ、逮捕、投獄を経て、出獄するまでが描かれている。

なお、このほか、中本が関わった安保闘争を中心とした日記『わたしの安保闘争日記』(中本たか子 著 新日本出版社 1963 請求記号：Y915/J 3)もある。

◆ 作品集など

『近代女性作家精選集 016 南部鉄瓶工』

(尾形明子 監修 ゆまに書房 1999 請求記号：Y/N 36)

岩手の南部鉄瓶生産者たちが、数々の障害を乗り越え組合を結成、成功するまでを描いた長編小説。

このほか、「近代女性作家精選集」として、『恐慌』(尾形明子 監修 ゆまに書房 1999 請求記号：Y/N 36)、『耐火煉瓦』(尾形明子 監修 ゆまに書房 2000 請求記号：Y/N 36)がある。

『日本プロレタリア文学集 21

婦人作家集 1』

(新日本出版社 1987 請求記号：Y/N 36)

中本の作品として、「赤」「恐慌」「闘い」など、9つの短編を収録。戦前に刊行された際は伏字だった箇所が、中本自身の手により復元されている。巻末に解説がある。

◆研究文献など

『中本たか子の文学世界』

(山口県立大学文化創造学科地域実習班 編・発行 2010 請求記号：Y910/P 0)

山口県立大学で開催された同名展示の展示解説資料。「中本たか子の文壇登場をめぐる」「中本たか子とくやまぐち」「中本たか子の回想」「昭和十年代の中本たか子」の4つに分けて、それぞれ関係する作品等を解説している。

“国立国会図書館サーチ”

(国立国会図書館)

<https://ndlsearch.ndl.go.jp/>

国立・都道府県立・政令指定都市立・大学図書館等の蔵書のほか、雑誌記事なども検索できるサイト。

「中本たか子」の語で検索すると、中本自身のものを含め、関係雑誌記事を探すことができる。

◆文学館・史跡など

“山口県立大学郷土文学資料センター” (山口県立大学)

<https://www.yamaguchi-pu.ac.jp/li/hm/>

山口県の文学関係資料を収集・保存・研究している。中本の著作のほか、書簡・自筆原稿などを所蔵している。

なお、このほか「中本たか子文学資料館」(下関市角島)もある。

- このほか、当館ウェブサイトや館内の蔵書検索機の「**なんでも検索**」で、「中本たか子」と入力して検索すると、関係資料を幅広く探せます。

ウェブサイトの最終確認日：2023年6月30日

■お探しの資料が見あたらないときは、当館職員へお尋ねください。

山口県立山口図書館 総合サービスグループ

TEL：083-924-2114 (調査・相談)

FAX：083-932-2817

WEB：<https://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

調べ方案内・やまぐちの文学者編 No.007

なかもと 中本 たか子

について調べる

- 中本たか子の作品を読んだり、彼女について調べたりするための基本的な資料をご紹介します。
- ここで取り上げた資料は、2階の「ふるさと山口文学ギャラリー」や、「山口県文学」の棚にあります。
- この他にも、関係する資料があります。詳しくは、カウンター職員にお尋ねください。

作成日：2023年6月30日